



TITLE:

移民ト米國ノ労働

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

CITATION:

米田, 庄太郎. 移民ト米國ノ労働. 經濟論叢 1917, 4(5): 763-772

ISSUE DATE:

1917-05-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127197>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號五第 卷四第

行發日一月五年六正大

論 說

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(一)……………法學博士 田島錦治

奢侈税ノ辯難……………法學博士 神戸正雄

きんぐノ法則ト米麥價……………法學士 河田嗣郎

經濟心理學ノ組織的研究(四、完)……………米田庄太郎

支那經濟思想ノ出發點(二、完)……………法文學士 小島祐馬

時事問題

貿易ニ對スル金融ノ改善……………法學博士 戸田海市

支那關稅引上ト日本ノ紡績業……………法學博士 神戸正雄

雜 錄

米國ノ海外放資力……………法學博士 神戸正雄

獨領植民地ノ處分問題……………山本美越乃

移民ト米國ノ勞働……………米田庄太郎

米國聯邦農地貸附法……………法學士 河田嗣郎

移民ト米國ノ勞働

米田庄太郎

余ハ昨午本雜誌上ニ於テ「戰後ノ米國ニ於ケル歐洲移民運動ト日米移民問題」ト題スル一論文ヲ發表シ、又大阪毎日新聞紙上ニ於テ「戰後ニ於ケル日米移民問題」ト題スル一論文ヲ公ニシテ、目下ノ大戰亂ガ其ノ終結ヲ告ゲタル後米國ニ於ケル歐洲移民運動ガ如何ニ變動スルデア

ラウカラ推察シ、又其ノ推察ニ基ヅイテ日米移民問題ノ解決ニ關スル一定ノ愚見ヲ説述シタガ、其ノ後米國ノ新聞雜誌上ニ於テ續々現ハレタル戰後同國ニ於ケル移民問題ニ關スル諸家ノ意見ヲ見ルニ 全然愚見ニ反對スルモノヤ、一部分反對スルモノモアルガ、又愚見ト大ニ類似セルモノモアル。而シテかりふおるにあ洲ノState Market Director テアル Harris Weinstock が The Annals of the American Academy of Political and Social Science 本年一月號ニ於テ公ニサレタル一論文 Immigration and American Labor ハ愚見ニ類似スルモノノ一ニシテ、且ツ愚見ノ立場カラ見テ殊ニ興味アルモノノ一ト考ヘルカラ、茲ニ之ヲ譯出シテ以テ讀者ノ參考ニ供シタイト思フ。

(一) 夫レ吾人ノ最も多クハ吾人自身ノ獨占ヲ除ケバ總テノ獨占ニ反對スルモノデアル。而シテ労働組合ノ役員ハ吾人ノ一部分デアルカラ、彼等ガ來住民ノ獎勵ニ反對スルノハ寧ロ當然デアツテ、吾人ハ之レガ爲メニ別ニ彼等ヲ非難ス

ルコトハ出來ナイ。労働組合ノ役員等ガ來住民ノ獎勵ニ對シテ抱ク感情ハ、商人ヤ自由職業者ガ彼等ノ競争者ノ數ヲ増加シ、夫レニ應ジテ彼等ノ收益ノ減少ヲ誘致スル爲メニ助力センコトヲ求メラルル場合ニ起ス感情ト正シク同一デア。労働組合ノ役員等ガ、來住民ノ大流入ハ賃銀ヲ低落セシメ、又労働者ノ數ヲ増加スルコトニヨリテ各労働者ノ仕事ヲ減少スルデアラウト考ヘルノハ自然デアル。而シテ彼等ハ不景氣ノ襲來スル時ニハ、此等ノ事情ハ失業問題ヲシテ甚シク險惡ナラシムルモノデアルト主張シテ居ル。彼等ハ、來住ハ産業の不安ノ現狀ニ對シテ大ナル責ヲ有スルモノナルコト、來住ハ食料品ノ代價ノ昂騰スルダケ迅カニ賃銀ノ昂騰スルコトヲ妨クル最大因素デアルコト、來住ハ傭主ト傭人トノ間ニ良好ナル關係ノ發達スルコトヲ大ニ妨害セルモノナルコト、來住ハ職工組合ノ形成ヲ大ニ妨グ、責任アル労働團結ヲ發達サセル困難ヲ益々大ナラシムルモノナルコト等ヲ主張スル主ナル論者デアル。但シ余ハ茲ニ特ニ勞

働組合ノ役員等ガ來住ニ反對スルト云フテ居ルガ、是レ何人モ三百萬人ノ職工組合員ノ全體カ此問題ニ對シテ如何ナル態度ヲトツテ居ルカヲ知ラナイカラデアル。彼等全體ノ態度ヲ確カメル爲メニ嘗テれふえれんだむノ行ハレタコトハナイト思フ。併シ若シカカルれふえれんだむガ行ハレタトスレバ、恐クハ職工組合員ノ大部分ハ、彼等自身ノ多クガ來住者デアルカ、又ハ來住者ノ子デアルガ爲メニ、彼等ニ與ヘラレタト同様ナル生活改善ノ機會ヲ、彼等ノ本國ニアル親戚知己ニ與ヘルコトニ贊成スルデアラウト思ハレル。

(二) 夫レ米國ニ於ケル労働者ノ要スルコトハ彼等ノ仕事ニ對スル最トモ廣大ナル機會ト、彼等ノ仕事ノ生産物ニ對スル最トモ大ナル重要トデアル。

今米國ノ人口ガ一億ヨリ五千萬人ニ減少シタト假定セヨ。此ル狀態ノ下ニ於テハ米國労働ノ生産物ニ對スル國內需要ハ其ノ半分ニ減少シ、而シテ仕事ノ機會モ殘ル五割ノ人口ニ對シテ

夫レニ應ジテ減少スルデアラウ。之レニ反シテ米國ノ人口ガ適當ナル期間ニ於テ二倍ニ増加シタト假定セヨ。此ノ事情ハ労働生産物ニ對スル國內需要ヲ二倍ニ増加セシムルデアラウ。又生産物ノ増加ハ生産費ヲ減少セシメルカラ、隨フテ米國ノ世界の販路ハ大ニ膨脹スルデアラウ。

今ヤ労働不足ノ大ナル叫聲ハ農業者ノ間ヨリ、殊ニ西部地方ノ農業者ノ間ヨリ起ツテ居ル。昨年ノ收穫期ニ於テハ農業者ニトツテハ殆ンド禁止的ナ高イ賃銀ガ農業労働者ニ呈供サレタガ、而モ尙ホ其ノ需要ハ適當ニ充タサレナカツタノデアル。而シテカカル狀態ガ今後モ繼續セシニハ、舊ニ新労働ノ不足ナルノミナラズ、更ニ現在ノ農業労働者ノ多數ガ都市ニ於テ一層高キ賃銀ノ呈供セラレ、又都市の誘惑ノ大ナルガ爲メニ續々農村ヲ去ル結果、近キ將來ニ於テ農業ハ甚ダ不利益ナル狀態ニ陥リ耕作面積ハ大ニ減少スルデアラウ。而シテ此事ハ又食料品ノ代價ヲ益々昂騰セシメテ、消費者ニ益々大ナル重荷ヲ負ハシムルニ至ルデアラウ。

(三) 目下ノ歐洲大戰亂ハ世界ノ狀態ニ一大革命ヲ起シテ居ル。而シテ此ノ戰亂ガ終結ヲ告グル曉ニ於テハ、歐洲ハ憐レナル狀態ヲ呈スルデアラウ。全體世界ノ最大資産ハ人間デアアル。然ルニ今ヤ歐洲ニ於テハ、總テノ資産ノ中デ最トモ貴重ナル此ノ資産ガ、日々殺戮セラレ、不具ニサレルコトニヨリテ、絶ヘス滅滅シツツアルノデアアル。平和ガ恢復サレタ時ニハ、歐洲諸國民ハ啻ニ強壯ナル勞働者ノ幾百萬人ヲ彈丸ト疾病トニヨリテ失ナヘルノミナラズ、又手足ヲ失ナヒ、生産力ヲ失ナヘル他ノ幾百萬人が國民ノ重キ負擔トナルコトニヨリテ、甚ダ困難ナル狀態ニ陷ルデアラウ。歐洲ノ産業ヲ恢復シ、戰爭ノ損害ヲ償ナフ大事業ヲ遂行スル爲メニ必要ナル強壯ナル人間ノ甚シク缺乏スルコトガ感ゼラレルデアラウ。而シテ其際歐洲諸國ノ政府ガ、殘存セル強壯者ヲ自國ニ於テ保持スル爲メニ、大ニ策ヲ講ズルデアラウト云フコトハ、火ヲ見ルヨリモ明ラカデアアル。強壯者ノ外國移住ヲ禁止スル爲メニアラユル手段ガ用ヒラレ、而シテ

彼等ノ外國移住ヲ獎勵スルモノハ何人デモ國賊ヲ以テ目セラレ、又疑ヒモナク國賊トシテ取扱ハレルデアラウ。

(四) 今歐洲ノ交戰國ガ人間ト金トヲ切りニ濫費シテ日々貧弱ニナリツツアル其ノ間ニ、米國ハ之レニ反シテ前代未聞ノ利益ヲ收メ、日々富ミ太リツツアルノデアアル。其ノ富ハ最トモ亂暴ナ空想家ツヘモ嘗ノ想像シ得ザリシ程ノ割合ヲ以テ増進シツツアルノデアアル。而シテ此ノ莫大ナル富ハ有益ニ使用サレテバナラナイノデアアルガ、然ルニ之ヲ最トモヨク有益ニ使用スル途ハ、吾人ノ尙ホ開拓サレテ居ラナイ多クノ自然的富源ヲ發達サセルコトヨリ外ニナイト思フ。

サレド此等ノ大富源ハ充分ナル勞働ノ供給ナクシテハ如何ニシテ開拓サレルコトガ出來ルカ。吾人ハ如何ニシテ吾國ノ運河ヲ開鑿シ、吾國ノ貯水池ヲ造リ、吾國ノ鐵道ヲ布設ス可キカ、益々勞働者ノ供給力増加スルニ非ラズバ、吾人ハ如何ニシテ吾國ノ鑛山ヲ開掘シ、森林ヲ切り開キ、船舶ヲ造リ、荒野ニ植民シ、又今眼前ニ

勃興セントシツツアル工業の大企業ヲ實現スルコトガ出來ルカ。而モ此等ノ事業カ成就サルルニ非ラズバ米國ニ於ケル勞動者ノ生活ヲ尙ホ一層大ニ改善スル機會ハ甚シク減少スルノデア

ル。米國生レノ勞動者ガ鶴嘴ヤしやぶろヲ以テ働クコトヲ賤ム傾向ヲ有スル事實ハ歎カハシキコトデアルカモ知レナイ。而モ其ノ事實ハ疑ハレナイ。而シテ其ノ原因ノ如何ヲ問ハズ、トニカク彼等ハ「木ヲ切り、水ヲ汲ム」コトニヨリテ自然ノ大富源ヲ發達サセル爲メニハ、到底免ルルコトノ出來ナイ性質ノ勞動ヲ自カラ行ナフヲ欲シナイノデアル。

例ヘハばなま運河ヲ開鑿セントスルニ當テ、普通勞動者トシテ只米國ノ市民シカ使用スルコトガ出來ナカツタトスレバ、如何ニ多クノ歲月ヲ費スモ其ノ成功ハ到底望マレナイコトデア

シテ夫レガ爲メニ世界モ米國モ大ナル損失ヲ受ケタデアラウ。併シ實際ニ於テ其等諸國ノ勞動者ガ使用サレタガ爲メニ、該運河ハ大體上完成シ、而シテ彼等ガ利益ヲ得シノミナラズ、又幾千ノ米國人ガ數年間、或ハ工夫長トシテ、或ハ技師トシテ、其ノ他信任サレル地位ト責任アル地位ヲ占ムルコトニヨリテ大ニ仕事ヲ得タノデアル。

尙ホ移民ニヨリテ重大ナル影響ヲ受クル他ノ一問題ガアル。夫レハ家事勞動ノ問題デア

ル。今移民ヲ制限スルコトニヨリテ下女下男ノ供給ヲ斷ツトセヨ。之レガ爲メニ家事勞動者ニ關スル現在ノ大問題ノ解決ハ殊ニ西部地方ニ於テ、益々困難トナルデアラウ。既ニ米國ノ家婦ハ家事勞動ノ供給ガ需要ニ應ジナイ爲メニ大ニ困マツテ居ルノデアル。而シテ堪能ナル下女下男ノ缺乏ト、彼等ノ賃銀ノ大ナル昂騰トハ、實ニ此ノ方面ニ於テ勞動ノ飢饉ヲ起シテ居ルノデア

ル。然ルニ社會的其他ノ理由ニヨリテ米國ノ女子ハ下女奉公ヲ好マナイ、且ツ商店ヤ事務所ニ

於テ勤クコトガ、時間モ短カク、社會的地位モ高イト考ヘラレ、又種々ナル自由モ與ヘラレテ居ルカラ、從來下女奉公ヲナシ來レル方面ノ女子モ、近來商店ヤ事務所ニ勤キヲ求ムルコトニナツタ。此クテ今ヤ下女ノ逼迫ハ米國ノ家庭問題上甚ダ重大ナルモノトナツテ來タノデアル。

從來一人又ハ二三ノ下女ヲ使用スルコトガ出來タ月給取リ階級ノ人々ヤ、小商工業者ニアリテハ、今ヤ下女ヲ傭フコトハ彼等ノ到底望ムコトノ出來ナイ贅澤トナツテ來タ。而シテ夫レガ爲メニ彼等ハ下宿屋ヤぼてるニ住マフコトトナリ、幾千ノ家庭ハ破滅シツツアルノデアル。又從來適當ナル家庭の影響ニ包マレテ健全ナル養育ヲ受ケテ居ツタ小供ガ、今ヤ安値ナ下宿屋ヤぼてるニ於テ養育サレテ居ルガ、彼等ガカカル境遇ノ下ニ於テ受クル惡影響ハ實ニ恐ル可キモノデアル。而シテカカル狀態ガ繼續スルニ於テハ遂ニハ「吾國ノ新シキ墓ハ搖籃ヨリモ一層多クナル」危險ガアルノデアル。吾人ガカカル危險ヲ免ルル唯一ノ途ハ歐洲ノ移民ヲ招クコトヨ

リ外ニナイ。サレバ來住者ヲ出來ルダケ少ナクスルト云フ方策ハ、今日既ニ起ツテ居ル此ノ家事勞働問題ヲ愈々險惡ナラシムルノデアル。

五 今日米國中ノ工業の中心ヲ通ジテ勞働ノ飢饉ガ起ツテ居ル。是レ一部分ハ來住者ノ停止セルコトヨリ起リ、一部分ハ多クノ強壯ナル歐洲生レノ勞働者ガ母國ノ戰場ニ於テ戰フ爲メニ米國ヲ去ツタコトヨリ起レルモノデアル。而シテ此ノ勞働飢饉ハ米國ノ工業的及ビ農業的發達ノ可能ヲ大ニ制限シツツアルノデアルガ、又更ニ一層來住者ヲ制限スレバ將來米國ノ產業上ニ如何ナル結果ヲ生ズルカラ豫想セシムルモノデアル。輓近數十年間ニ米國ノ成就シタル前代未聞ノ工業的及ビ農業的大膨脹ハ、先ヅ第一ニ續々移民ノ來住セシコトニ基因スルノデアル。之レナクハカカル方面ニ於ケル發達ハ永キ以前ニ停止シタデアラウ。而シテ米國ニ於テハ總テノ方面ニ於ケル發達ノ可能ハ今日モ尙ホ無制限デアル。吾人若シてきさず洲ガ英國ノ如キ人口密度ヲ有スル場合ニハ該一洲ノミデ合衆國全體

ノ人口ヲ養ナイ得ルコトヲ思ヘハ、吾國ニ於ケル發達ノ可能ガ如何ニ大ナルモノデアルカヲ明カニ會得スルコトガ出來ヤウ。健全ナ身體ト善良ナ性格ヲ具ヘテ米國ニ來住スル強壯ナル各人ハ、其ノ男子ナルト女子ナルトヲ問ハズ、又教育アルモノナルト教育ナキモノナルトヲ問ハズ、總テ米國ノ資産ヲ増加スルモノデアル。南北戰爭前ニ於テ一等ノ黑奴ハ千五百弗值ヒシタト云フガ、然ラバ健全ナ強壯ナ自由ナ白人ハ米國ニトツテ如何程大ナル價值ヲ有スルデアラウカ。

米國ニ於ケル人口蜜集ノ中心地ガ時トシテハ明ラカニ勞働過多ノ狀態ヲ呈スルコトハ眞實デアル。而モ此ノ過多勞働者ノ可ナリ大ナル割合ハ、氣候的條件ノ爲メニ一時失業セル季節勞働者ヤ、不具者、無能者、勞働ヲ好マザルモノ等ヤ、又酒、麻醉藥、疾病等ノ犠牲トナレル者ノ間ニ於テ見出サレルノデアル。而シテ此ノ勞働過多ノ弊害ハ吾人若シある位いたんや其他ノ南米諸國ノ現ニ實行シテ居ル方案ヲ採用センニハ、或度ニ於テ出來ルダケ之ヲ減少スルコトガ

出來ルノデアル。但シ其等ノ南米諸國ノ實行シテ居ル方案トハ、ツマリ勞働密集ノ度合ヲ出來ルダケ減少スル爲メニ、新ニ到着セル勞働者ニ國內無料乘車券ヲ與ヘテ彼等ヲシテ何處ナリトモ適當ナル地ニ自由ニ移住セシムルコトデアル。要スルニ來住問題ノ骨髓ハ海外ノ人民ノ爲メヲ圖リテ彼等ヲ歡迎スルト云フヨリハ、寧ロ我國民ノ安寧及ヒ發達ヲ求メ、我國ノ總テノ驚ク可キ富源ヲ開クコトニアルノデアル。

(六)

却說移民ハ賃銀ヲ低落セシメルト云フハ、吾人ノ常ニ耳ニスル處ノ言葉デアルガ、然ルニ事實ハドウデアルカ。歐洲移民ノ最トモ大ナリシ時代ニ於テハ、米國產業史上ノ何レノ時代ニ於テヨリモ、賃銀ハ一層迅速ニ昂騰シ、勞働時間ハ一層多ク短縮サレテ居ルコトヲ見ルノデアル。而シテ米國ノ工業統計ニヨリテ見ルニ、屠獸業及ビ包裝業ニ於テハ總テノ勞働ノ八割五分ハ外國勞働者ニヨリテ營マレ、又彼等ハ有煙炭ノ七割ヲ採掘シ、羊毛工場ニ於テハ其ノ仕事ノ七割八分、棉花工場ニ於テハ總テノ勞働ノ九

割ヲ行ナイ、而シテ總テノ衣服業ノ仕事ノ二十分ノ十九マデガ彼等ノ手ニヨリテナサレテ居ル。更ニ外國移民ハ米國ニ於ケル靴ノ半以上ヲ造リ、家具品ノ五分ノ四、煙草及ビしがノ半、及ビ砂糖ノ殆ンド全額ヲ製造シテ居ル。又鐵工業及ヒ鋼鐵工業ニ於テハ彼等ハ總テノ危險ヲ負擔シテ居ルノデアル。

勞働者ハ嘗テ總テノ勞働節約ノ工夫ハ彼等ノ利益ヲ傷害スルモノ、又彼等ノ仕事ヲ奪ヒ去ラントスル競爭者デアルト考ヘタ時代ガアツタ。然ルニ其ノ後ノ歴史ハ、其等ノ工夫ハ決シテ彼等ノ勞働ヲ奪ヒ去ルモノニ非ラズシテ、却テ思ヒモヨラザリシ幾多ノ新シキ仕事ノ途ヲ開クモノナルコトヲ證明シテ居ル。勞働節約ノ工夫ニヨリテ生産費ヲ減少スルコトガ可能トナリ、而シテ夫レカ爲メニ消費高ハ大ニ増加シ、更ニ消費高ノ大増加ハ勞働ノ需要ヲ著シク増加シタノデアル。同ジ理ニヨリテ移民ハ必要ナル勞働ヲ供給スルコトニヨリテ、若シ然ラザレバ何時マデモ閉鎖サレテ居ルト思ハルル新シキ生産ノ途

ヲ開キ、而シテ在來ノ勞働者ノ仕事ヲ奪ヒ去ラズシテ、却テ新シキ又一層豐富ナル仕事ヲ誘致スルノデアル。

近來移民ハ過度ニ増加シテ來タト云ハルルニ係ラズ、實際ニ於テ過去五十年間ニ於ケル本國生レノ人口ト外國生レノ人口トノ割合ハ實質上殆ンド變動シテ居ラナイ。國勢調査ノ示ス處ニヨレバ、千八百六十年ニ於ケル外國生レノ人口ハ全人口ノ百分ノ十三、二ニ當ツテ居ルガ、千九百十年ニ於テモヤハリ百分ノ十四、七グラヒニシカ當テ居ラナイノデ、格別ニ外國生レノ人口ノ割合ハ増加シテ居ルトハ云ハレナイノデアル。而シテ千八百六十年ニ比較スルト、今日ノ合衆國ニ於テハ、賃銀ハ大ニ昂騰シ、勞働時間ハ短縮セラレ、生活標準ハ著シク高上シテ居ルノデアル。

又移民ハ彼等ノ小供ノ教育ニ對シテ甚ダ熱心デアルト云ハレテ居ル。今合衆國中央政府ノ教育局長ガ其ノ公ニセル一報告中ニ述グル處ニヨレバ、合衆國ノ兒童中無教育者ノ割合ノ最トモ

少ナキモノハ外國生レノ両親ノ本國生レノ兒童
デアル。而シテ本國生レノ両親ノ兒童ニ於ケル
無教育者ノ割合ハ、外國生レノ両親ノ本國生レ
ノ兒童ニ於ケル無教育者ノ割合ヨリモ三倍多イ
ノデアル。

(七) 以上述べ來リシ處ニヨリテ見レバ、勞働指
導者并ニ彼等ノ見解ニ同情スル人々ハ、來住ニ
反對スル點ニ於テ全ク事實ノ保證ヲ有シナイコ
トハ明ラカデアルト思フ。米國ノ工業的必要ナ
リ、農業的必要ナリ、又家事勞働ノ必要ナリ、
總テハ吾人ガ米國ニ來リテ勞働スルコトヲ希望
スル總テノ端正ニシテ強壯ナル男女ニ、歡迎ノ
手ヲ擴ゲル方針ヲ持續スルコトヲ要求スルモノ
デアル。吾人ハ米國ガ工業ニ於テ、又商業ニ於
テ、又農業ニ於テ、又教育ニ於テ、又學問及ヒ
藝術ニ於テ、又社會的安寧ニ於テ成就セル最大
進歩ハ、米國ニ於ケル來住民ノ數ガ最トモ大ナ
リシ期間ニ於テ成就サレタルモノナルヲ事實上
發見スルノデアル。而シテ吾人ハ精神的、道德
的及ビ身體的ニ不適當ナル分子ノ侵入ヲ豫防ス

ル爲メニハ、法律上充分ナル規定ガ具ハツテ居
ルト信ンズル。又此等ノ法律上ノ規定ハ嚴格ニ
施行サレル可キモノニシテ、若シ之ヲ爲スニハ
現在ノ機關ガ不充分デアルトスレバ、夫レハ宜
シク改善セラレ、又完成セラル可キモノデアル
ト思フ。更ニ吾人ハ人類ノ活動ノ總テノ方面ニ
於テ尙ホ一層大ナル進歩ヲナサン爲メニ、吾々
并ニ吾々ノ子孫ニ對シテ完全ナル安全ト利益ヲ
以テ、又適當ナル移民并ニ彼等ノ子孫ニモ利益
ヲ與ヘツ、彼等ガ彼等自身ノ安寧幸福ノ爲メ、
及ヒ吾々ノ安寧幸福ノ爲メ、米國ニ來住シテ大
ニ活動ス可ク彼等ヲ招クコトガ出來ルト信ンズ
ルノデアル。

譯者ノ短評——うえんすとつク氏ガ米國ニ於
ケル移民ノ必要ヲ論ズル點ハ、同國ノ多數ノ短
見者ノ謬見ヲ打破スルニ足ルト信ズル。移民排
斥ハ實ニ米國ノ發達ヲ大ニ妨害スルモノデアル
否ナ自殺的行爲デアル、少クモ天命ニ背ク非人
道の行爲デアル。無限ナル自然ノ富源ヲ具ヘナ
ガラ、之ヲ開拓ス可キ人間ノ來住ヲ排斥シテ、以

テ、天ノ與フル恩恵ヲ何時マデモ人爲のニ閉鎖シ置カントスルハ、是レ天命ニ背ク非人道的ナ行爲ニアラズシテ何ゾヤ。米國ハヨロシク自國ノ發達ノ爲メ、又人類ノ爲メニ、適當ナ強壯ナ移民ヲ歡迎ス可キモノデアル。うえんすどつく氏ノ説ハ米國ノ發達ヨリ考フルモ、亦人道上ヨリ考フルモ實ニ適切ナルモノデアル。更ニ同氏ノ論ズル如ク、目下ノ大戦争ニヨリテ米國ガ不意ニ獲得シタル莫大ナル富ハ、若シ之ヲ自然的富源ノ開拓ノ爲メニ適當ニ運用シナイ場合ニハ米國ノ受クル道德的害惡ハ實ニ恐ル可キモノデアラウ。然ルニ同氏自身モ明ラカニ認メテ居ル如ク、戦後歐洲諸國ヨリ適當ナ強壯ナ移民ノ供給ヲ充分ニ受ケルコトハ甚タ困難デアル。然ラバ米國ハ自己ノ發達ノ爲メニ、否ナ自己ノ救済ノ爲メニ必要ナル其ノ適當ナ強壯ナ移民ノ供給ヲ何處ニ求メントスルカ。うゑんすどつく氏ノ説ヲ論理的ニ一步進メテ行カバ、ツマリ日本移民ノ制限ヲ撤廢セザルヲ得ナイコトニナルデアラウト思フ。余ハ同氏ガ大膽ニ其ノ一步ヲ進メ

テ論ゼザリシコトヲ遺憾トスルノデアル。